

# 家庭教育だより No.32 はぐくみ

親子のコミュニケーションなどによって育まれる家族のきずなや家庭のルールづくり、子どもたちの基本的な生活習慣づくりを考えませんか。

問合せ 学校教育課 ☎32-8028 FAX34-4379

いざという時のために「今」できること

## 家族で防災会議をしよう

9月1日は防災の日です。災害はいつ、どんな時に起こるか分かりません。いざという時に落ち着いて行動できるよう以下のポイントを確認しながら、また今月の広報みよしと一緒にお届けしているマイ・タイムラインを活用しながら家族で話し合い、もしもの災害に備えましょう。



### きめておこう 避難する場所

避難場所・避難所がどこにあるか知っていますか。家屋や周囲の状況、発生時間・場所によっては避難しなければならない場合があり、避難する場所は災害の種類や避難期間によって異なります。

**避難場所** 命を守るため災害の危険から緊急的に逃げる場所

**避難所** 被災して帰宅できない場合に一定期間避難生活をする場所

市防災マップを参考に避難する場所を各家庭で決めておきましょう。



ホームページ



### きめておこう 避難所への行き方

避難する場所を決めたら家族で経路を確認しましょう。被害を受けて通行ができなくなりそうな道や、ブロック塀・斜面沿いなど避難中に危険が伴う道を確認し、なるべく広く安全な道を通るルートにしましょう。避難ルートを実際に歩いてみるのも備えの一つです。



### きめておこう 家族との連絡方法

災害時の連絡方法をいくつか決めておきましょう。災害発生から数日間は電話回線が制限される場合があります。電話以外の無料通話アプリやSNSなどさまざまな連絡手段を利用しましょう。

安否確認に…

Check!

- NTTが災害時に運営する「171災害用伝言ダイヤル」
- 携帯電話各社が災害時に開設するサービス「災害用伝言板」



### 市内の小学4年生の社会科授業をのぞき見！

「地震などの災害から暮らしを守るために、誰がどんなことをしているのか」を学習

- ・自助…自分の身を自分で守ること
- ・共助…地域や身近にいる人と助け合うこと
- ・公助…自治体や消防、警察などによる公的な援助のこと

これらの3つの視点で自分ができることは何かを考えています。

災害時に冷静な判断と的確な行動をとるためには、普段の生活の中でも防災に対する意識を持つことがとても重要です。家族で、防災会議を開いてみませんか。

